

御嵩町第五次総合計画基本構想検討資料 一町の特性と主要課題について

国や県の動き
時代潮流

- (1) **本格的な少子高齢化の時代**
 - ・御嵩町は平成7年をピークに人口が減少、今後は減少が加速化
 - ・急増する老年人口（特に後期高齢者）
 - ・年少人口、生産年齢人口の減少
- (2) **安全・安心が求められる時代**
 - ・懸念される南海トラフ大地震
 - ・亜炭鉱廃坑跡の陥没、水害の懸念
 - ・高齢者を狙った犯罪、高齢者が交通事故の被害者・加害者になることの懸念
- (3) **環境保全・創出に責任を持つ時代**
 - ・一人ひとりの住民そして事業所が環境に対して責任を負う時代
 - ・求められる炭素排出の抑制、自然の保全・再生、循環型社会の構築
 - ・再生エネルギーの活用、エネルギーの地産地消に取り組む地域も増加
- (4) **個の魅力を認め合う時代**
 - ・生涯学び続ける意欲の高まり
 - ・社員の個性を認めて能力を引き出す企業の増加
 - ・まちの個性や魅力が活性化のチャンスに
 - ・ふるさと回帰、田舎暮らしの志向の高まり
- (5) **グローバル化進展と交流の時代**
 - ・自由貿易化の進展など、世界が経済圏としてますます密接に
 - ・警鐘されている富の集中による格差社会化
 - ・アジアの経済的発展による外国人観光客の増加
 - ・インターネットにより情報交流が拡大
- (6) **絆が見直される時代**
 - ・防災、災害復興などで絆が大切という教訓
 - ・高齢者同士、多世代のつながりが重要
 - ・地域資源を生かした自立経済圏を目指す動き
- (7) **地方と地域の自治力が重視される時代**
 - ・新しい公の担い手の育成、住民主体のまちづくりが盛んに
 - ・身の丈に合った行財政規模への賢い縮小が必要
 - ・行政や地域の自治力が住民の幸福度、居住地の選択を左右

- ◆**国土形成計画「中部圏広域地方計画」**
 - ①賑わいあふれる国際交流圏・多文化共生圏
 - ②世界をリードする産業・技術のイノベーション圏
 - ③人々が生き生きと、安心して暮らすことができる持続可能な環境先進圏
- ◆**岐阜県長期構想 希望と誇りの持てるふるさと岐阜県をめざして～人口減少時代への挑戦～**（平成21～30年度）
 - ・5つの将来像
 - 安心して暮らせる／人・モノが活発に交流／誰もが生き生きと活躍／清流と自然を守る／つながり、支え合う岐阜県

- ◆**地方創生へ（まち・ひと・しごと創生総合戦略）**
- 岐阜県人口ビジョン（H27.4・暫定版）**
 - ・右肩上がりの社会の価値観ではない、新しい価値観を持ち、地域を新しく創り変える
 - 自然減対策（県）、社会減対策（特に消滅可能性都市）
- 岐阜県「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H27.4・暫定版）**
 - ・基本目標
 - 1.ひとを育む／2.しごとをつくる
 - 3.岐阜に呼び込む／4.安心をつくる
 - 5.まちをつなぐ

◆**町の特性**

- ◆**人口動向** 「統計からみた御嵩町の現状について」参照
 - 2025年（平成37年）まで老年人口は急増し、その後はやや減少する。しかし、生産年齢人口と年少人口は出生数の低下とともに減り続けて、これまで以上の速度で人口減少が進むと推計される。
 - このため、高齢者福祉や社会保障制度の充実が当面の課題となるが、あわせて、生産年齢人口の減少に伴う地域経済や地域社会の活力低下への対応も課題としてとらえる必要がある。
- ◆**都市間比較**
 - 御嵩町は可茂地域内・隣接市町の中では、人口の減り具合は低く、老年人口の割合は低いが、年少人口の割合も低い。行財政面では住民1人当たりの所得や財政力指数は高く、住民当たりの職員数は少ない。
 - 可茂内7市町、瑞浪・土岐市と比較した御嵩町の指数。1.0が10市町平均。
 - ※は逆数で低い値をプラス方向に換算

指標	御嵩町指数
①人口増加率（H17～22）（%）☆	1.28
②年少人口割合H22（%）	0.96
③老年人口割合H22（%）※	1.06
④昼夜間人口比率H22（%）	1.00
⑤1人当たりの所得H22（千円）	1.02
⑥財政力指数（H25）※	1.13
⑦実質公債比率（H23～25平均）※	0.90
⑧経常収支比率H25	0.98
⑨住民1,000人当たりの職員数H25（人）※	1.19

◆**住民意識からみたまちづくりの課題と方向性**
（御嵩町第五次総合計画策定に伴う『まちづくり』についての住民アンケート調査 平26.9）

《施策満足度（Best5）》	《施策重要度（Best5）》	《力を入れるべき施策》
①幹線道路整備（46%）	①亜炭鉱廃坑対策（78%）	①亜炭鉱廃坑対策（39%）
②ごみ減量・リサイクル（43%）	②防災対策（66%）	②高齢者福祉（24%）
③上水道整備（39%）	③雇用確保（64%）	③公共交通機関（20%）
④下水道整備（32%）	④人口減少対策（63%）	③人口減少対策（20%）
⑤生活道路整備（26%）	⑤医療体制（62%）	⑤防災体制強化（17%）

- 町の自慢：「わからない」43%、「自慢できない」28%、「自慢できる」19%。
（中学生）：「わからない」66%、「自慢できる」17%、「自慢できない」15%。
→具体的に自慢できることは、自由記入で住民、中学生ともに「自然」（自然が多いことなど）が多く、次いで「歴史・文化」
- 御嵩町に住み続けたいと「思う」64%、「わからない」29%、「思わない」6%
（中学生）「思う」24%、「わからない」54%、「思わない」22%

- ◆**これまでの総合計画と将来像**
 - [第一次] S49～60 健康で豊かな人間生活のできる産業文化都市
 - [第二次] S61～H7 自然と歴史に調和した産業文化都市
 - [第三次] H8～17 自然と歴史のなかに出会いとふれあいがいきるまちづくり
～21世紀の宿場町・みたけ～
 - [第四次] H18～27 ひと・みどり・ものづくり
～いきいき十字路タウンみたけ～

総合計画審議会、まちのたね見つけ隊などの意見も踏まえ

- ◆**町の主要課題**
- (1) **みたけの“ファン”づくり、そして定住人口、交流人口の確保**
 - 御嵩ならではの方策で町の特性を生かし、人口減少のスピード緩和が求められる。人口の維持、人を呼び込む工夫
 - 工業団地従業員の町内居住の促進／○限界団地、限界集落の対策
 - 歴史的資源などを生かした観光客など交流人口の創出
- (2) **安全で快適な暮らしが営める環境づくり**
 - 亜炭鉱廃坑跡対策の早急かつ着実な実施
 - 災害に強い地域づくり、減災のまちづくり
 - 東海環状自動車道や国道21号バイパスの活用
- (3) **未来都市の形成を見据えた地域づくり**
 - 低炭素社会と地域活力の創出を目指す「御嵩町環境モデル都市」の推進
 - 住民とともに持続的発展が可能な未来都市を目指す
- (4) **安心して暮らすことができる地域社会づくり**
 - みんなが地域で活躍し支え合う
 - 高齢者の孤立、認知症対策など地域包括で対策
 - 高齢者を支える高齢者、地域に参加する若者を増やす、多世代交流の推進
 - 移動手段的確保、名鉄広見線の維持
- (5) **子育て・子育てができる環境づくり**
 - 人生のパートナーと出会う機会づくり
 - 安心して子どもを産み育てることができる、子育てができる環境づくり
 - 若夫婦が子育てしやすい環境づくり、優れた環境づくり
- (6) **まちの個性の掘り起しとプロモーションの推進**
 - 個性をつくるための学びの機会の提供
 - 個性的な生き方を認める地域社会づくり
 - 街道文化、鬼岩温泉の活用、環境モデル都市の取組みなど、まちの個性づくり
 - 田舎暮らしを望む人の受け入れ、芸術村構想など
 - 個性を積極的に外に情報発信して移住促進、誘客
- (7) **若者が活躍できる新しいしごとづくりの推進**
 - 包摂型社会の形成（格差の是正、雇用機会の創出、弱者を地域社会で支援）、若者にとって夢のある社会の形成
 - 環境、農業再生、食とエネルギーの地産地消、歴史文化、観光に関連するしごとづくり／○企業誘致とともに自立的な経済圏づくり
 - 技能を持つ人、アーティストの移住／○ICTの活用
- (8) **持続的な行財政の確立**
 - 行政改革の推進／○行政が説明責任を果たし透明性を向上
 - 公の担い手の育成／○公共施設のマネジメント
- (9) **人づくりの推進**
 - 自治力の向上
 - 地域における教育力向上と生涯学習の推進
 - 地域・町の将来の担い手づくりの推進

将来像、まちの姿